

小さな学校、小さな地頭方だからできることがある

人・本・旅(体験)から学ぶ

- (1) 人とかかわり合いながら「もっと楽しい」を創ります。
- (2) 本を読むことで、「読解力」と「心の豊かさ」を伸ばします。
- (3) 鈴木梅太郎博士を誇りに思えるようになります。
- (4) もっと地頭方が好きになります。
- (5) 小学生の今だからできる体験をします。

子供が主体的に考える

- (1) 子供たちが考え行動できること、子供たちの力で判断できること、よりよい生き方を子供たちが決定できるようにします。
- (2) 学校を創るのは子供たちです。
- (3) 子供の〇〇したいのあふれる授業をします。

自分らしさが大切にされる

- (1) 1人1人のタカラモノ(自分らしさ)が絶対に見つかります。
- (2) 学校が好きになります。
- (3) トライ&エラー 挑戦と失敗をしながら成長します。

ふるさとで生きる喜びを知る

- (1) 地域のすべての方が子供たちの先生です。
- (2) 鈴木梅太郎井、うめ～饅頭、地頭方の伝説・民話、うめっぴを学びに生かします。
- (3) 鈴木梅太郎博士の生き方をすべての学年で学びます。
- (4) 海を学び、地頭方の海が好きになります。

災害から命を守れる知識と行動力を身につける

- (1) 学校の約束、社会の約束を守ろうとする心を育成します。
- (2) いざという時、友達と助け合える行動がとれる仲間づくりをします。
- (3) いざという時、思考・判断できる力を授業で育てます。
- (4) 食べ物への感謝の気持ちを持てるようにします。
- (5) わがままを言わない、我慢できる子にします。

学校で正常な教育が行われていれば、それはすべて、子供たちの一生涯続く防災力になると信じています。

地頭方小学校は

ファーストペンギンをめざします